

株主メモ

事業年度	6月1日～翌年5月31日
定時株主総会	8月
基準日	5月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告の方法によります。ただし電子公告による ことができない事故その他やむを得ない事由が生じ た場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.pharmarise.com">http://www.pharmarise.com</a>
証券コード	2796 (ジャスダック)



<http://www.pharmarise.com>

<お問い合わせ先>

ファーマライズホールディングス株式会社 経営企画部

TEL : 03-3362-7130 FAX : 03-3362-7190

E-MAIL : [ir@pharmarise.co.jp](mailto:ir@pharmarise.co.jp)

# Perfect

ファーマライズホールディングス株式会社

## 第24期 中間期株主通信

2009年6月1日～2009年11月30日

(証券コード 2796)



トップインタビュー

**ファーマライズグループは、調剤を科学する専門家集団を目指します。  
また、地域医療で理念を共有できる企業とのネットワーク拡大を推進します。**

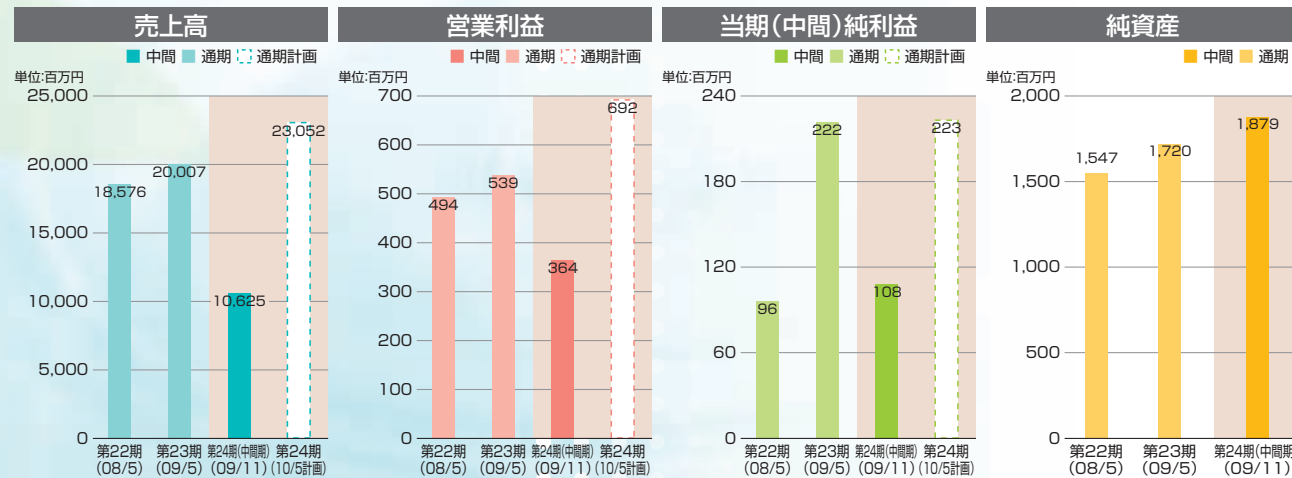


代表取締役社長 大野 利美知

**Q1** 第24期中間期（2009年6月1日～2009年11月30日）の業績についてお聞かせください。

当中間期における国内経済情勢は、積極的な財政出動と中国・インド等の新興国による旺盛な需要回復により最悪期からは脱したものの不透明な状況が続いています。また、ファーマライズグループが属する調剤薬局業界でも、新たな民主党政権による医療政策の方向性や来年4月に予定される薬価改定の影響など、見通しの立てにくい要素が多分にあります。

そのような外部環境の中でも、我々は、持株会社を軸に機動的かつ積極的な事業展開を行うことで、連結業績として、売上高10,625百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益364百万円（前年同期比139.6%増）、当期純利益108百万円（前年同期比141.9%増）と順調に推移することができました。



まずはグループ力拡大に向けた取り組みですが、昨年9月に株式会社三和調剤（東京都3店舗）と株式会社ハイレンメディカル（北海道18店舗、秋田県2店舗、FC2店舗）を連結子会社化し、ファーマライズグループの事業基盤を確実に強化することができました。続いて、我々の最大の特長である「地域医療」についてもこれまでと同様に積極的な取り組みを続けるとともに、一般用医薬品やアロマ、サプリメント等、新たな付加価値の提供に向けて模索しております。

なお、配当方針につきましては1株につき2,000円とし、変更ない旨も併せてご報告申し上げます（平成21年12月1日を効力発生日として1：3の株式分割を実施しています）。

**Q2** ファーマライズグループの成長戦略について教えてください。

ファーマライズグループの成長戦略には3つの側面があります。一つ目は社会性（ソーシャルティ）、二つ目は専門性（スペシャリティ）、三つ目は持続性（サステナビリティ）です。

一つ目の社会性とは、必ず社会貢献を伴った成長でなければならないということです。少子高齢化が急速に進行し国民医療費の削減が困難とされる中で、調剤薬局や薬剤師が果たすべき新たな役割を明確にする必要があります。

二つ目の専門性とは、ファーマライズグループ独自の高度なノウハウに基づく調剤サービスを提供すること、つまり調剤を科学することです。具体的には、地域医療のノウハウ、「安全と効果」に基づく後発医薬品の提供、調剤過誤防止体制等がありますが、これらにつきましても常に拡大深化させる所存です。

三つ目の持続性とは、バランスの取れた成長を継続的に行うということです。そのためにはファーマライズグループ各社の連携強化と人材のレベルアップが必要になります。我々は、グループ会社トップによる会議を定期的開催し、効果的な施策やノウハウの共有等で常に連携できる体制を整備しています。

**Q3** ファーマライズグループはどのようなグループを目指しているのですか？

大手チェーンや流通小売・商社等を軸に、調剤薬局業界も合従連衡が進行しています。ファーマライズグループは、在宅医療や施設調剤等の地域医療を積極的に担うグループとして業界再編の中で一つの核になりたいと考えています。

我々は昨年6月1日より持株会社体制に移行し、そのような理念やメッセージを外部に対して積極的に発信しています。その効果もあり、昨年9月から株式会社三和調剤（本社：東京都）と株式会社ハイレンメディカル（本社：北海道）がファーマライズグループに参加しています。

地域に根差し、地域医療への関心が高い調剤薬局をグループ化できれば、調剤薬局の新しい存在意義や薬剤師の潜在能力の開発にもつながります。また、全国の地域医療チームに参加する機会が増えることで薬剤師のスキルアップに向けた道が広がります。それにより、薬剤師にとって働き甲斐があり離職率の低い調剤薬局グループの実現を目指しています。

**Q4** 株主、投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

ファーマライズグループは、高い水準のコミュニケーション能力と薬学的知識を必要とする地域医療（在宅医療、施設調剤等）に対して先進的に取り組んできた経緯があります。そのため、地域医療に関する様々なノウハウの蓄積を有しています。

さらに、ファーマライズグループは少子高齢化が急速に進行する国内において、独自の地域医療に関するノウハウを全国各地で提供できる体制を整備することで、社会的ニーズに対応することを使命として認識しています。これからも、地域医療において調剤薬局や薬剤師が果たすべき役割を極めてゆくとともに、地域医療について問題意識を共有できる企業とのネットワーク拡大を推進してまいりたいと考えています。

株主、投資家の皆様には、引き続きご理解とご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

## トピックス

## 1. ファーマライズの現場力

## 統括本部長 布目勝也（株式会社三和調剤 代表取締役兼務）

## 新しいタイプの「ホールディングス体制」を実現する。

私は平成8年に株式会社三和調剤を創業し、東京都武蔵野地区に3店舗の調剤薬局を経営していました。業績は順調でしたが、ファーマライズグループにあえて参加したのは「ホールディングス構想」に共感したためです。

多くの一般的なM&Aは、大が小を飲みこんで均質化させ、規模拡大と効率化を図ることを目的とします。しかし、ファーマライズグループのM&Aは全く意図が異なります。その内容は、グループ全体で問題意識を共有し、それに対してグループ各社が知恵やノウハウを持ち寄って解決方法を模索するという仕組みです。私はファーマライズグループに参加することで単独では得られない「スケールメリット」や「やりがい」を感じることができると思いました。

現在、私はファーマライズホールディングス株式会社の統括本部長として、グループ各社の活力と自律を促す立場にあります。ファーマライズグループの理念や目標を共有できる会社とともに、これまでにない新しいタイプの「ホールディングス体制」を実現したいと考えています。



統括本部長 布目 勝也  
(株式会社三和調剤 代表取締役兼務)

## ファーマライズ薬局恵利原店 店長・管理薬剤師 加藤亮太

## 地域医療における「薬のエキスパート」を目指して



恵利原店 店長 加藤 亮太



恵利原店（三重県）では、特別養護老人施設やグループホームなど多くの施設で入居者の薬剤管理をさせていただいております。ただ単に薬を届けるのではなく、施設医、看護師、薬剤師で医療チームを組成し、施設患者のベットサイドを回り、適切に薬が投与されているか、副作用などの問題は起きていないか、他の治療法はないか、など施設患者への最適な治療を一緒に検討しています。また私達は、薬の専門化の立場から医師が処方する薬の投与量、投与日数、相互作用を確認し、処方内容に疑問があればその場ですぐに確認できる体制を整えています。

在宅医療では、30余名の在宅患者の薬剤管理に取り組んでいます。担当医師と毎週ミーティングを開き、在宅患者又は家族より収集した服薬情報や患者の気になる症状などを医師に伝えています。その結果が担当医師の処方設計に反映されることも少なくありません。

今後、在宅などの地域医療の現場で薬剤師の積極的な関与が不可欠になると思います。我々薬剤師が「薬のエキスパート」としてさらに地域医療に貢献できるよう、これからも日々業務に邁進してまいります。

## 2. リーダー人財育成プロジェクト

持続的に成長するためにはリーダーとなる人材の育成が不可欠です。当中間期も若手選抜型の集合研修である「リーダー人財育成プロジェクト」を実施しました。本研修の目的は、薬学医療に関する専門的な知識の習得ではなく、現場のリーダーとしての資質を磨くことにあります。その内容は、①課題解決のための能力開発、②コミュニケーションの能力開発、③財務計数の把握に関する能力開発等、総合マネジメントの分野に焦点を絞っています。



リーダー人財育成プロジェクト

## 3. 株式会社ハイレンメディカルを完全子会社化

北海道の道南地区を中心に22店舗（北海道18店舗、秋田県2店舗、FC2店舗）を展開する株式会社ハイレンメディカルを平成21年9月30日付で完全子会社化いたしました。既にグループ会社として苫小牧市内で15店舗（調剤薬局13店舗、その他2店舗）を展開している株式会社ふじい薬局と併せて、北海道におけるファーマライズグループの基盤を強固なものにすることができました。



<http://www.heilen.jp/index.html>

## 4. 新規開局店舗

当中間期において、ファーマライズグループの店舗総数は27店舗増加し155店舗になりました。昨年9月の連結子会社2社（株式会社三和調剤（3店舗）、株式会社ハイレンメディカル（22店舗））の増加に加え、10月に魚津店（富山県）、11月に一宮西店（愛知県）を新規開局いたしました。なお、12月以降についても上野店（東京都）を新規開局し、有限会社北町薬局（3店舗）の連結子会社化も行っております。



ファーマライズ薬局 魚津店



ファーマライズ薬局 一宮西店



ファーマライズ薬局 上野店

## 中間連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第23期 (平成21年5月31日現在)	第24期中間期 (平成21年11月30日現在)
●資産の部		
流動資産	5,091	5,145
固定資産	5,242	7,141
有形固定資産	3,334	3,666
無形固定資産	864	2,187
投資その他の資産	1,043	1,287
繰延資産	1	0
資産合計	10,335	12,286
●負債の部		
流動負債	5,848	7,198
固定負債	2,766	3,210
負債合計	8,615	10,408
●純資産の部		
株主資本	1,690	1,756
資本金	580	580
資本剰余金	527	527
利益剰余金	585	651
自己株式	△ 2	△ 2
評価・換算差額等	7	9
少数株主持分	22	112
純資産合計	1,720	1,877
負債及び純資産合計	10,335	12,286

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第23期中間期 (平成20年6月1日から 平成20年11月30日まで)	第24期中間期 (平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	788	1,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 393	△ 1,413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 140	272
現金及び現金同等物の増加額	253	429
現金及び現金同等物の期首残高	1,443	1,921
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,696	2,350

### 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第23期中間期 (平成20年6月1日から 平成20年11月30日まで)	第24期中間期 (平成21年6月1日から 平成21年11月30日まで)
売上高	9,683	10,625
売上原価	8,587	9,263
売上総利益	1,096	1,361
販売費及び一般管理費	944	996
営業利益	152	364
営業外収益	9	11
営業外費用	70	118
経常利益	91	257
特別利益	20	0
特別損失	2	23
税金等調整前中間純利益	109	235
法人税、住民税及び事業税	63	124
少数株主利益	0	1
中間純利益	44	108

(中間連結貸借対照表)  
平成21年9月に株式会社三和調剤と株式会社ハイレンメディカルを連結子会社化したため、第23期末と対比して資産合計が約20億円増加いたしました。

(中間連結損益計算書)  
インフルエンザ流行の影響等により既存店売上が高水準で推移し、労務管理の強化や経費節減策の効果が顕れたため、第23期中間期と対比して大幅な増収増益となりました。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書)  
営業活動によるキャッシュ・フローは、売掛債権流動化により約10億円増加いたしました。  
投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の取得（株式会社三和調剤、株式会社ハイレンメディカル）で約13億円支出いたしました。

## 会社情報

### ■ 会社概要

設 立	1984年6月
社 名	ファーマライズホールディングス株式会社
資 本 金	580,075千円
本 店 所 在 地	東京都中野区中央1-1-1
主 な 事 業 内 容	持株会社（調剤薬局事業を営むグループ会社を統括する管理運営会社）
ホ ー ム ペ ー ジ	<a href="http://www.pharmarise.com">http://www.pharmarise.com</a>
主 要 取 引 銀 行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社みずほ銀行
連 結 従 業 員 数	760名（2009年11月30日現在、非常勤含む）

### ■ 役員（2009年11月30日現在）

代表取締役社長	大 野 利美知
常 務 取 締 役	大 野 小夜子
常 務 取 締 役	村 上 典 夫
取 締 役	秋 山 昌 之
取 締 役	小 高 芳 夫
取 締 役	三 浦 誠
取 締 役	藤 平 栄 一
監 査 役	地 搗 幹 夫
監 査 役	辻 信 彦
監 査 役	佐 藤 勝

### ■ 株式の状況（2009年11月30日現在）

発行可能株式総数	28,620株
発行済株式総数	7,155株
株 主 数	556名

※平成21年12月1日を効力発生日として1：3の株式分割を実施しているため、現在の発行可能株式総数は85,860株、発行済株式総数は21,465株となっています。

### ■ 大株主の状況（2009年11月30日現在）

株主氏名	持株数(株)	持株比率(%)
大野 利美知	3,511	49.1
林 良行	367	5.1
ファーマライズ従業員持株会	364	5.1
大野 小夜子	248	3.5
株式会社アイセイ薬局	246	3.4
平松 仁	155	2.2
HSBCファンドサービスズ クライアントアカウント006	128	1.8

### ■ 主要仕入先

株式会社スズケン  
株式会社メディセオ 他

### ■ 連結子会社（2010年1月31日現在）

名称	住所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	調剤薬局事業
株式会社みなみ薬局	静岡県御殿場市	調剤薬局事業
株式会社南魚沼調剤センター	新潟県南魚沼市	調剤薬局事業
株式会社双葉	京都市東山区	調剤薬局事業
株式会社ふじい薬局	北海道苫小牧市	調剤薬局事業
株式会社三和調剤	東京都武蔵野市	調剤薬局事業
株式会社ハイレンメディカル	北海道伊達市	調剤薬局事業
有限会社北町薬局	東京都練馬区	調剤薬局事業